

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」TEMDEC (Telemedicine Development Center of Asia)活動報告：第10巻

清水, 周次
九州大学病院

中島, 直樹
九州大学病院

<https://doi.org/10.15017/1517924>

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 10, 2014-03. TEMDEC事務局
バージョン：
権利関係：

謝辞、および利益相反について

本プロジェクトの推進に当たり多大なご協力を頂きました九州電力（株）、アジア太平洋先端ネットワーク機構（APAN）、およびユーラシア横断情報ネットワーク（TEIN）を初め、九州大学および関係各施設の皆様に深謝致します。なお本プロジェクトには、日本学術振興会の科学研究費補助金 No. 23256005（課題名：学術用超高速インターネットを利用した遠隔医療ネットワークの世界展開）、および文部科学省の特別研究教育経費（課題名：地域医療・国際医療貢献を目指した高品質動画像による次世代遠隔医療システムの技術開発・実証）より支援をいただきました。

また九州大学では、「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医学系部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本プロジェクトは「臨床研究に係る利益相反マネジメント委員会」の指示に従い、これらの要項に基づいて実施されています。本プロジェクトは上記各事業の資金援助に加え、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とオリンパスメディカルシステムズ株式会社から奨学寄付金として九州大学病院へ資金提供を受けておりますが、すべて本プロジェクト推進のための研究教育目的に使用致しております。本プロジェクトの遂行にあたって個人的な金銭的利益を得ておらず、特別な利益相反状態にはありません。利益相反のさらなる詳細に関しましては、九州大学知的財産本部または利益相反マネジメント委員会（連絡窓口：九州大学病院高度先端医療センター）までお問い合わせ下さい。

セキュリティ、および著作権について

本プロジェクトで施行するテレカンファレンスはあくまでも教育用が主体であり、患者情報を直接取り扱う電子カルテや診療情報の共有を目的としたものではありません。そのため患者氏名や患者の顔など患者を特定できる患者情報は一切公開されることはなく、事前に削除されるか同定できないように被覆されるなどして慎重に取り扱われています。またライブデモンストレーションにおいても、患者情報を出して議論されることはなく、また患者を特定できる情報をカメラで撮影することはありません。従って、基本的にはこれ以上のセキュリティ対策を取る必要はないものの、特にライブデモンストレーションに関しては各医療機関の考え方に沿い、事前に患者へ承諾をいただいた上で、必要に応じて IPSec-VPN や AES などの暗号化環境を構築してさらなるセキュリティ対策を確保しています。

また本プロジェクトで取り扱われる資料を、発表者の承諾を得ることなく、別の著作物やホームページで公開することはありません。